

コスト意識を高める 損得計算入門コース

開催日時 **2026年 5月26日(火)** **2026年11月 5日(木)** **オンライン** **オンライン** 各回とも 10:00~17:00

対象 **原価について知識を習得したい方** **合理的で正しい意思決定をしたい方** **コストダウン活動を推進している方** **若手・中堅社員の方**

講師 **島田 一弘 氏**
JMA専任講師
シマックス経営研究所 代表

参加料(税込) 法人会員：56,100円/1名 会員外：61,600円/1名
※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
 ※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
 ※お申込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申込みください。

ねらい

お金の計算は、家計簿と同じです。入るを計りて出するを制すが、「儲け」のコツです。

仕事にも同じことが言えます。ビジネスの活動では、ひとつひとつの判断が、コストに大きく結びついていきます。原価の仕組みを理解し、損得計算をすることにより、コストダウンを推進し、利益貢献ができるようになります。

本コースは、数字に苦手意識のある方にも理解しやすく、楽しく学べる構成にしています。

みなさんのコスト改善のスキルアップと業績貢献に役立てることができるビジネスパーソン必須のコースです。

参加者の声

- 普通原価計算がいかにシステムに頼っているかを痛感しました。
- 難しく考えていたところがありましたが、わかりやすく講義していただきよかったです。
- 現場に寄り添った形で講義していただき、分かりやすかったです。
- 実務に沿った経営指標の使い道を学ぶことができました。
- 付加価値の考え方をきちんと認識でき、今後活用していきます。
- 全体的にわきあいあいとしていて研修に入りやすかったです。

■ プログラム

10:00~17:00 [昼食] 12:00~13:00

① やさしく学ぶ

原価計算の仕組みとコストダウン

- (1)なぜ「原価計算」をするのか
～原価を知るとは社会を知ること～
- (2)原価計算の3要素(モノ ヒト コト)
- (3)「損益分岐点」を図解してみよう

演習

- (4)原価計算とコストダウン

- コスト(製造原価)

演習

- 材料費低減の着眼点と改善例
- 労務費低減の着眼点と改善例
- 経費削減の着眼点と改善例

② ケースで学ぶ「損得計算」

あなたならどうしますか？

演習とグループ研究

- (1)コスト意識 どちらが得か・身近な例の損得計算
- (2)どれが儲かる製品か
- (3)付加価値と内作・外注の判断
- (4)赤字製品をやめるべきか
- (5)安い新規の受注を断るべきか
- (6)人員配置 どの案が効率的か
- (7)不良損失の損得計算
- (8)投資をするべきかどうか

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

